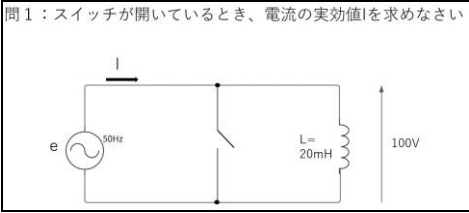
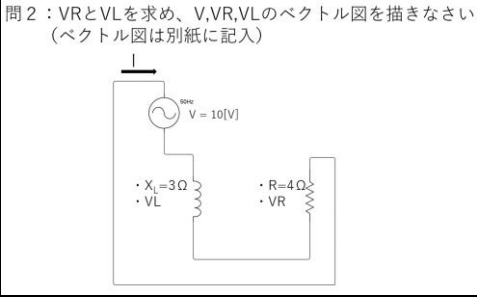
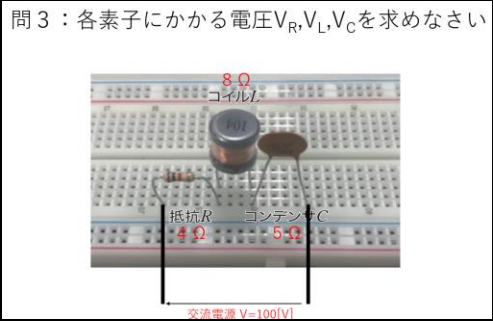
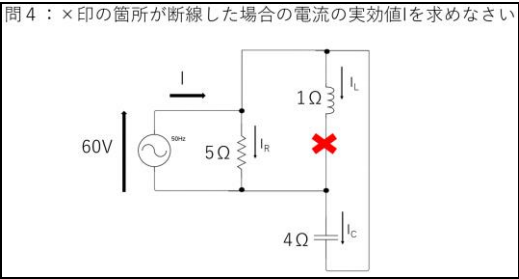


学 習 指 導 案

日 時	令和6年11月6日(水) 第6限	指導クラス	電子機械科2年生	指導者	
教科(科目)	工業(電気回路)	単元名	第5章 交流回路 第2節 交流回路の電流・電圧		
教科書	実教出版 電気回路1	副教材	実教出版 電気回路1・2		
本時の目標	各種交流回路の適切な考え方や公式を選択できるようにする。 本時(11時間目/11時間)				
学習活動に 即した評価 規準	知識・技能(技術)	思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度	
		変形した回路図から適切な考え方や 公式を選択し、各種値を計算し求め 結果を検証し改善している。			
時間	指導内容・ねらい	学 習 内 容			指導上の留意点・観点別評価
【導入】 5分	・本時の目標や内容を説明し、1時間の見通しを持たせる。 ・グループ体形に席を変え、学習の環境を整える。	・教員の説明を落ち着いて聞く。 ・本時の目標、1時間の見通しを持つ。 ・席替えを行う。			・生徒を落ち着かせ、学習への切り替えをさせる。一方通行の話ではなく、生徒と対話的に話をする。
【展開1】 5分	【展開2】のために必要な考え方や公式を確認する。	・教科書226ページを確認する。 ・教員の説明を聞く。			・説明は本時の目標を踏まえて話す。
【展開2】 38分	問題を4つ解いて、生徒は本時の目標を達成できるように努める。教員はそれを確認し、達成具合を把握する。	解く順序は以下のようにする。 1, 教員が問題を提示。 2, まずは各自で解く。(時間制限あり) 3, グループで協力し解く。(時間制限あり) ※2, 3はプリント(プリント1)を配付し、書き込ませる。解答だけでなく、途中式をしっかりと書くようにする。 4, 解答をクラス全体で共有する。 代表で生徒に説明してもらう。 自分の解答に間違いや追記があった場合はプリント1の「グループでの協議」に書き込むように指示する。 4, 次の問題に突入する。			・順序に関しては、必要なことだけ簡潔に説明する。 考える時間を確保することが大切であるため、形にこだわりすぎて説明が冗長になることは避ける。 ・机間指導を行いながら生徒の様子を確認する。生徒の状況によっては順序4を省略し、教員による説明に切り替える。 ・評価(ルーブリック参照) 【思考・判断・表現】

		問1 問1：スイッチが開いているとき、電流の実効値Iを求めなさい  問2 ※ベクトル図を記入する用紙（プリント2）を配付。 問2：V_RとV_Lを求め、V, V_R, V_Lのベクトル図を描きなさい (ベクトル図は別紙に記入)  問3 問3：各素子にかかる電圧V_R, V_L, V_Cを求めなさい  問4 問4：×印の箇所が断線した場合の電流の実効値Iを求めなさい 	
【まとめ】 2分	本時のまとめ	・本時の目標を達成できたか各自確認する。 ・プリント1、プリント2を回収する。 ・次回の学習内容の予告を行う。	

ルーブリック評価表

	「十分満足できる」と判断できる状況 A	「おおむね満足できる」と判断できる状況 B	「努力を要する」と判断する状況 C
思考・判断・表現	・変形した回路図を見て、適切な公式や考え方までたどりつき答えを求めることができる。	・変形している回路を直し、回路名を判断できる。	・変形している回路図を直し、回路名を判断することができない。